

平成20年度シラバス

教科名	科目名	履修学年	区分	単位数
芸術	美術 I	1 学年	選択必修	2

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	美術の幅広い活動を通して、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な
使用教科書・副教材等	美術 I (光村)
授業方法・授業形態	講義と実技・作品制作を交えて授業展開を行う。また、それぞれに関連した参考作品の鑑賞を行う。
備考	

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	学習内容	月	学習のねらい	活動の特記事項他
第 1 学 期	●高校美術 1 を学習する前に (1) 授業に臨む心構え 美術の分野「観る、聴く、考える、やってみる」 ●身の回りの物をそっくりに描く (12) 鉛筆で静物デッサン	4	●高校美術 1 の概要を知る	色彩今まで、平面的な見方 (表現) をしがちであったことに気づき、立体的表現もできるように なることによって、より表現が豊かになることを知る。
		5	●立体感と遠近感の表現 線遠近法の基礎的理解 光、陰影の捉え方	
		6	●立体の構造観察と把握。 色の観察と分析 分析に基づく混色	
		7		
【課題・提出物等】毎回の授業にて指示。				
【第 1 学期の評価方法】提出物の素点の累積点と制作の過程における「観る、聴く、考える、やってみる」の姿勢をもとに総合的に評価す				

学期	学習内容	月	学習のねらい	活動の特記事項他
第 2 学 期	●色彩構成 (8) ●県総体バッジのデザイン (12) 平塗り、溝引きの技術	8	●造形要素を理解し、構成と配色の基本を学ぶ	材料、用具の特性をよく理解して使用しているか。
		9		
		10	●色彩構成で学んだことを生かす アイデアの出し方 形や色にはそれだけで感情やイメージがあることに気づき、構成や配色が表現において大切なものであることを知る。	
		11		
12	バッジの目的に即したイメージを形と色に置き換える			
【課題・提出物等】毎回の授業にて指示。				
【第 2 学期の評価方法】提出物の素点の累積点と制作の過程における「観る、聴く、考える、やってみる」姿勢をもとに総合的に評価す				

学期	学習内容	月	学習のねらい	活動の特記事項他
第 3 学 期	●小角材を使用した工芸品制作 (14) 各自のテーマに応じたアイデア 木工の基礎的技法と	1	●個性的で独創的な発想を大切に、人と異なることを恐れない。 それぞれの個性を認め合う。	工具、刃物使用の注意を明確に理解して、危険のないようにする。
		2		
		3		
【課題・提出物等】毎回の授業にて指示。				
【第 3 学期の評価方法】提出物の素点の累積点と制作の過程における「観る、聴く、考える、やってみる」姿勢をもとに総合的に評価する				

【年間の学習状況の評価方法】1~3 学期の提出物の素点の累積点と制作の過程における「観る、聴く、考える、やってみる」姿勢をもとに総合的に評

確かな学力を身に付け	美術は手間です。こだわりを持って手間を惜しまないようにすれば、おのずから、実力が身に付いてきます。
授業を受けるに当たっ	提出物の期限を守る。

(2) 評価規準及び評価の観点

自分の表現への意志や、意図、発想などを大切にしながら、よりよい表現に向けて自己挑戦する態度を重視する。 結果としての作品からだけでなく、アイデアスケッチや構想図、発言の内容や学習のメモなどから感性や発想力、構想力を読み取るよう努める。また、表現意図や構想にふさわしい表現であるか、独創的な表現を試みているかなどについても同様に評価する。

3 担当者からのメッセージ

授業時間数が少なく、限られているので、集中して、能率良く作業をするようにしましょう。
--